

地域の救急を支え、安心して暮らせる街を目指して

たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter

2026
No.

51

川崎市立多摩病院 〒214-8525 川崎市多摩区宿河原1-30-37 ナビダイヤル：0570-028-111



病院長就任 のご挨拶

川崎市立多摩病院 病院長 奥瀬 千晃



2026年4月より、病院長を拝命いたしました奥瀬 千晃（おくせ ちあき）です。開院20周年という節目を迎え、地域医療の要として成熟期に向かう大切な時期に大役を仰せつかり、その職責の重さを痛感しております。

これまでの歩みの中で築かれた地域との信頼関係を大切に受け継ぎ、求められる役割を果たしながら、職員一丸となって信頼される誠実な医療を実践してまいります。

当院は、公立病院の公共性と大学附属病院の高度な専門性を併せ持つ「公設民営」の病院です。この強みを最大限に活かし、地域医療支援病院として近隣の先生方と緊密に連携しながら、地域に根差した医療体制を築いてまいりました。今後はさらなる連携の深化を図り、地域の皆様とのつながりをより一層確かなものにすべく注力いたします。

当院の柱のひとつである救急医療は、医師の働き方改革という課題に直面するなかでも、全診療科の協力のもと、24時間365日、地域の救命を支え抜く体制を維持しております。また、各領域の専門医による高度な医療を提供するとともに、第三者機関による病院機能評価を継続して受審し、医療の質を堅持し続ける所存です。

川崎市立多摩病院は、指定管理者が掲げる「愛ある医療」を基盤とし、患者さんお一人おひとりの声に真摯に耳を傾け、安心して満足できる医療の提供に邁進いたします。地域の皆様に愛され、信頼される病院づくりに努めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

川崎市立多摩病院 ～20周年のあゆみ～

病
院
の
歴
史

社
会
の
出
来
事

開院
～多摩病院開院10周年

平成18(2006)年 2/1
～平成28(2016)年 2/1



6/1 教育研修管理部門に新たに「総合診療センター」を設置

平成29年
2017



5/28 登戸殺傷事件において救急医応援・被害者受入れ(記者会見等対応)

令和元年
2019

5月 天皇陛下が即位、新元号「令和」に改元
10月 消費税 10%へ



2/21 新型コロナウイルス感染症患者の受入れ開始

令和2年
2020

1月 日本国内で新型コロナウイルス感染者を初めて確認



3/27 手術支援ロボット「da Vinci Xi」搬入

令和3年
2021

7月 1年延期の東京オリンピック・パラリンピック開催



9/1 緩和ケア病棟 12床運用開始

令和4年
2022

2月 新型コロナウイルス「オミクロン株」流行、1日の新規感染者数が初めて10万人超
7月 安倍晋三・元首相が銃撃され、死亡



1/19～2/2 能登半島地震における当院DMAT隊の6次隊派遣

令和6年
2024

1月 能登半島地震
7月 パリ五輪 金メダル・メダル総数ともに海外の夏季五輪で過去最多

12/25 公式LINEアカウント開設

令和7年
2025

4月～10月 大阪・関西万博開催
10月 高市早苗氏が日本初の女性首相へ

4/23 公式Instagram開設

地域とつながる医療活動



① 市民健康講座
(地域住民向け)

② 春・秋看護イベント
〈健康フェア〉
(地域住民向け)



③ 地域医療機関向け
研修会・連携会議
(医療機関向け)

④ 情報の共有(地域住民・医療機関向け)
(かわさきFMラジオ放送開始
毎月第4火曜日 10時15分～10時45分)



メッセージ

この20年、当院は多くの患者さん、ご家族、地域の医療機関、関係機関の皆さまに支えられて歩んでまいりました。これからも川崎市立多摩病院は、地域に根ざし、安心と信頼につながる医療を一步ずつ積み重ねてまいります。「支えられた20年」への感謝を胸に、次の未来も地域の皆さまとともに。

川崎市立多摩病院
Kawasaki Municipal Tama Hospital

指定管理者 学校法人 聖マリアンナ医科大学

ホームページ



Web

インスタグラム



Instagram

ライン



LINE